

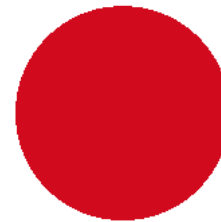
第2期 鶴岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略 概要版(案)抜粋



ユネスコ
食文化創造都市

鶴岡

UNESCO Creative City
of Gastronomy



JAPAN HERITAGE

日本遺産

三つの日本遺産
自然と信仰が息づく
『生まれ変わりの旅』
～出羽三山

サムライゆかりのシルク

荒波を越えた男たちの
夢が紡いだ異空間
～北前船寄港地

令和3年3月改訂

鶴岡市

第2期鶴岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略【第2期の体系】

【基本目標1】

安心して働いていくためのしごとをつくり、担い手を育てる

- 1 付加価値の高い地域産業や魅力あるしごとづくりの促進
- 2 農林水産業の成長産業化の推進
- 3 いきいきと働くことができる環境づくり
- 4 ふるさと鶴岡を愛する教育の推進

【基本目標2】

ひとの交わりを加速させ、移住者や関係人口を増やす

- 1 移住・定住・地元回帰の促進
 - (1) 移住・定住の促進
 - イ テレワークの推進(追加)
- 2 関係人口・交流人口の拡大
 - (6) 関係人口の創出・拡大(追加)
 - ア 新たな形態による関係人口の創出・拡大(追加)

【基本目標3】

結婚・出産の希望を持つひと、子育てするひとを全力で応援する

- 1 結婚支援の推進
- 2 妊娠・出産・子育ての支援
- 3 男女共同参画の気運醸成

【基本目標4】

地域の支え合いを通じて、まちの安全を守り、活気を生み出す

- 1 まちの賑わい創出と支え合うコミュニティの形成
- 2 安全・安心な暮らしを守る

【横断的な目標1】 多様な人材の活躍を推進する

【横断的な目標2】 新しい時代の流れを力にする

- 2 地域の国際化とSDGsの推進(修正・追加)
- 3 デジタル化の推進(追加)

第2期鶴岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略【基本目標2】

ひとの交わりを加速させ、移住者や関係人口を増やす

数値目標:①転入者数と転出者数の差(▲394人→▲200人) ②ふるさと寄附金寄附件数(25,596件→71,000件)

【基本的方向】

- 首都圏在住者への相談対応・情報発信、高等教育機関や地元企業との連携による地域産業の高度化、先端研究活動を担う人材育成と定着を推進し若者が地元に戻って就職できる支援策を充実
- 歴史、文化による戦略的な観光施策の展開、市民スポーツの振興、外国人住民との共生のまちづくり、公共交通ネットワークの効率化・再編整備を進め市民の日常の移動手段を確保

【具体的な施策】

1 移住・定住・地元回帰の促進

(1)移住・定住の促進

- ア 移住・定住の促進
- イ **テレワークの推進**

(2)人材の流入と定着を図る環境の整備

- ア 高等教育機関の特長を生かした教育研究活動の充実と地域産業の発展を担う人材の育成
- イ 若者の地元回帰、地元就職の促進

2 関係人口・交流人口の拡大

(1)文化資源の保存・継承・活用

- ア 歴史文化資源を活用した地域の活性化と交流人口の拡大

(2)鶴岡ならではの観光の振興

- ア 観光戦略・マーケティングなどに基づく観光振興
- イ 地域活性化につながる観光振興
- ウ 訪れたい、住みたい観光地域づくりの推進
- エ 加茂水族館や博物館などを中核とした交流人口の拡大
- オ 国際観光都市の実現をめざしたインバウンド誘客と認知度の向上

【重要業績評価指標(KPI)】

項目	現状値	成果指標 (2024年度)
移住定住施策による移住件数(年間)	32件 (2018年度)	42件
移住定住施策によるテレワーク実践者数(累計)	0件 (2020年度)	12件

項目	現状値 (2019年度)	成果指標 (2024年度)
高等教育機関等から誕生したベンチャー企業の40歳未満の従業員数	187人	227人

項目	現状値 (2018年度)	成果指標 (2024年度)
文化財施設入館者数	993,275人	1,110,000人

項目	現状値 (2018年度)	成果指標 (2024年度)
観光入込客数	637万人	760万人
外国人延べ宿泊者数	7,924人	50,000人

第2期鶴岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略【基本目標2】

(3) 市民スポーツの振興

- ア 地域の活力となる競技スポーツの振興
- イ 市民の健康・生涯スポーツの場の形成

【重要業績評価指標 (KPI)】

項目	現状値 (2018年度)	成果指標 (2024年度)
「運動・スポーツに関するアンケート調査」における割合		
成人週1日以上の実施率	53.7%	65.0%
成人週3日以上の実施率	21.9%	30.0%

(4) 国際化の推進

- ア 多文化共生のまちづくりの推進と国際化対応の充実

項目	現状値 (2018年度)	成果指標 (2024年度)
外国語講座及び日本語講座受講者数	1,276人	1,576人

(5) 交流・連携の推進と基盤の整備

- ア 高速交通ネットワークの充実
- イ ICTの利用環境整備と行政サービスの充実

項目	現状値 (2015年度)	成果指標 (2024年度)
日本海沿岸東北自動車道 鶴岡西IC利用台数(台/日)	7,225台	11,300台

(6) 関係人口の創出・拡大

- ア 新たな形態による関係人口の創出・拡大

項目	現状値 (2020年度)	成果指標 (2024年度)
移住サポートプログラムにおける複数回(年度内)参加者数(累計)	7人	47人
ふるさと納税における2年連続(評価年度とその前年度)納税者数 (「ふるさとチョイス」における集計)	3,141人	12,600人

第2期鶴岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略【2つの横断的な目標】

多様な人材の活躍を推進する

数値目標：①25～44歳の女性の就業率(83.3%→85.3%) ②障害者の実雇用率(2.08%→2.3%)

【基本的方向】

- 多様な人材が活躍できる環境づくりを積極的に推進し、若者、高齢者、女性、障害者など誰もが居場所と役割を持ち活躍できる活気あふれる地域社会を目指す

【具体的な施策】

1 全世代全対象型地域包括ケアの推進

高齢者、障害者、子ども、生活困窮者、社会的孤立者など幅広い対象に誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、住まい、医療、介護、予防及び生活支援を地域包括ケアにより一体的に提供

2 輝く女性活躍の推進

男女共同参画を推進し、女性はその個性と能力を十分に発揮し、いきいきと働き活躍できる働きやすい環境を整備

新しい時代の流れを力にする

数値目標：①未来技術を活用した地域課題解決のための取組件数(5件)

②温室効果ガスの削減(983.9kt-CO₂ →829.7kt-CO₂)

【基本的方向】

- ユネスコ創造都市ネットワーク食文化分野の加盟、東京オリンピック・パラリンピックを機とする国際化の流れの中で、Society5.0の技術革新を活用し、スマート農業はじめ様々な分野で人手不足の解消や地理的・時間的制約の克服を目指す
あわせて、コロナ禍を踏まえ、新しい生活様式を実践していくためにも、未来技術を有効に活用し、デジタルトランスフォーメーション(DX)を進める
- SDGs(持続可能な開発目標)の理念に沿って、環境の保全や自立的なエネルギー需給など、経済・社会・環境を巡る広範な課題解決図り地方創生を推進

【具体的な施策】

1 食文化・食産業創造の推進

市民が親しむ多様な食文化の特徴を生かし農林水産業、食に関わる製造業・卸売業・小売業や宿泊業、飲食サービス業などの産業を振興

2 地域の国際化とSDGsの推進

外国人観光客、外国人居住者に向けた国際化対応の推進、クリーンエネルギーの活用、デジタル化の推進、有機農業等の拡大による環境負荷軽減など、SDGs(持続可能な開発目標)の基本理念に基づく官民の連携協働による新たな価値の創出

3 デジタル化の推進

リモートやAIなどのデジタル技術を活用した地域課題の解決、官民等のあらゆる分野におけるデジタル化の推進